

# 道徳地区公開講座 簡易指導案

令和7年9月20日（土）

授業者	各学級担任	教科	道徳
学年	1年	場所	各教室

## □本時のねらい

互いのよさを認め合う友情について話し合うことを通して、友達関係を築くために大切なことを考え、互いに励まし合い、高め合おうとする実践意欲と態度を育てる。

## □生徒の特性・課題

生徒は幼いころから自然と友達関係を育み、中学校のこの時期では、気の合う友達がいるという生徒が多いであろう。

同時に、嫌なこともされるが一緒にいて楽しい時もあるという、心からの信頼に基づかない関係に悩んでいる生徒や、友達関係を築くことに慎重だったり臆病だったりして、孤独に悩んでいる生徒も少なくない。よさを認め合い、互いを知ろうとすることから、よりよい友達関係を築いていく経験が必要である。

## □主な学習活動「学習の流れ・学習内容・学び合い・授業改善（指導上の工夫）・評価等」

### 【導入】

発問1 友達のよさについて考えを出し合う。

○友達のいいところって、どんなところだろうか、発表する。

### 【展開】

発問2 「雅司のとまどい」を読み、友情や信頼関係を築くために大切なことについて考える。

○雅司、由紀、美佐はそれぞれどんな人かを確認し、この三人が一緒にいることで、それぞれにどんなよいことがあるか。話し合い、発表する。

◎お互いのよさを認め合う友情を築くためには、どんなことを大切にしたらいいだろうか。班で話し合い、発表する。（学び合い）

※友達のよいところを積極的に認めてほしいことを伝える。

発問3 友達のよさを見つけ合う。

○友達のいいところを見つけ、班で話し合う。

※それぞれが他の班員のよいところをワークシートに書き、発表し合う。

### 【まとめ】

発問4 感じたこと、考えたことをまとめる。

## 所感